ウィークリー・マーケット

2026年10月第4週号（2026年10月26日発行）

amova アモーヴァ・アセットマネジメント　アセットマネジメント(am)をムーヴ(move)する

Weekly Market

ご参考資料

主要指標の動き

2026年10月23日時点（1週間前＝10月16日、3カ月前＝7月23日、6カ月前＝4月23日、1年前＝2025年10月23日）なお、休場の場合は直前の営業日のデータを使用

	指標	先週末	騰落率(%) 週間	3カ月	6カ月	1年	25年末比
世界	世界株価 注1	622.04	▲ 0.9	1.3	5.5	13.9	11.5
	先進国株価 注2	15,791.17	▲ 0.7	2.2	6.3	13.6	11.2
	先進国(除く日本)株価 注3	18,184.84	▲ 0.6	2.2	6.2	13.2	10.8
	新興国株価 注4	875.95	▲ 2.6	▲ 5.1	▲ 0.1	16.6	14.3
日本	日経平均株価	62,693.16	▲ 4.0	▲ 5.6	6.0	28.9	24.5
	JPX日経インデックス400	36,038.19	▲ 2.0	▲ 1.6	6.5	22.9	17.4
	TOPIX (東証株価指数)	3,965.81	▲ 2.5	▲ 2.2	6.7	21.9	16.3
	東証プライム市場指数	2,043.68	▲ 2.5	▲ 2.3	6.7	22.0	16.4
	東証スタンダード市場指数	1,639.73	▲ 2.7	0.5	▲ 2.1	10.1	6.6
	東証グロース市場指数	959.94	▲ 3.3	6.2	▲ 4.6	0.9	8.6
米国	NYﾀﾞｳ 工業株30種	52,215.16	0.4	1.0	5.9	11.7	8.6
	S&P 500種	7,623.68	▲ 0.5	2.9	7.2	13.1	11.4
	ナスダック総合	25,955.34	▲ 0.7	3.3	6.2	13.1	11.7
	ナスダック100	28,957.53	▲ 0.8	1.8	8.1	15.4	14.7
	ﾌｨﾗﾃﾞﾙﾌｨｱ半導体	10,779.46	▲ 3.2	▲ 12.7	7.0	57.4	52.2
欧州	欧州 ｽﾄｯｸｽ・ﾖｰﾛｯﾊﾟ600	635.77	▲ 1.4	▲ 0.5	3.5	10.7	7.4
	英国 FTSE100	10,690.36	▲ 1.8	0.5	2.2	11.6	7.6
	ユーロ圏 ユーロ・ストックス	641.00	▲ 2.1	▲ 2.9	1.4	7.3	4.7
	ドイツ DAX	25,181.65	▲ 1.7	1.7	4.2	4.0	2.8
アジア・オセアニア	中国 CSI300	4,105.33	▲ 1.6	▲ 13.2	▲ 14.2	▲ 10.9	▲ 11.3
	中国 上海A株	3,869.39	▲ 0.7	▲ 4.8	▲ 9.9	▲ 5.9	▲ 7.0
	中国 深圳A株	2,315.40	▲ 0.6	▲ 10.9	▲ 19.8	▲ 10.0	▲ 12.6
	中国 創業板	2,684.10	▲ 3.2	▲ 24.9	▲ 27.9	▲ 12.3	▲ 16.2
	香港 ハンセン	23,093.37	▲ 4.5	▲ 8.4	▲ 10.9	▲ 11.1	▲ 9.9
	台湾 加権	46,041.43	▲ 2.3	2.7	22.1	67.2	59.0
	韓国 KOSPI	5,550.30	▲ 2.1	▲ 21.8	▲ 14.3	44.3	31.7
	シンガポール ST	5,422.16	0.1	▲ 2.9	9.7	22.8	16.7
	マレーシア FBM KLCI	1,611.56	0.2	▲ 6.0	▲ 6.4	0.2	▲ 4.1
	タイ SET	1,562.67	▲ 0.7	▲ 4.8	6.9	20.0	24.1
	インドネシア ｼﾞｬｶﾙﾀ総合	5,439.26	4.9	▲ 13.9	▲ 26.3	▲ 34.3	▲ 37.1
	フィリピン 総合	5,728.63	▲ 0.9	▲ 8.8	▲ 4.3	▲ 5.4	▲ 5.4
	ベトナム VN	1,774.15	4.0	4.4	▲ 5.1	5.2	▲ 0.6
	インド SENSEX	73,123.83	▲ 2.1	▲ 4.3	▲ 5.8	▲ 13.5	▲ 14.2
	豪州 S&P/ASX200	8,795.23	▲ 0.1	▲ 0.5	0.0	▲ 2.6	0.9
中南米 他	ブラジル ボベスパ	205,082.56	▲ 0.2	16.0	7.2	40.7	27.3
	メキシコ IPC	69,879.62	1.4	5.5	1.8	13.6	8.7
	南ｱﾌﾘｶ FTSE/JSEｱﾌﾘｶ全株	108,020.10	▲ 2.6	▲ 0.3	▲ 7.2	▲ 2.5	▲ 6.7
債券	日本国債 注5	287.17	1.2	0.4	▲ 1.9	▲ 6.9	▲ 4.1
	先進国(除く日本)国債 注6	1,056.58	0.1	▲ 0.5	▲ 2.0	▲ 1.1	▲ 1.5
	新興国債券 注7	925.93	0.1	▲ 1.2	▲ 1.4	2.1	1.1
利回り*	日本国債2年物	1.882	-0.034	0.380	0.519	0.944	0.704
	日本国債10年物	2.806	-0.124	0.016	0.377	1.137	0.740
	日本国債20年物	3.613	-0.203	-0.029	0.324	0.984	0.629
	日本国債30年物	3.836	-0.179	-0.107	0.197	0.744	0.435
	米国債2年物	4.684	-0.025	0.336	0.847	1.192	1.209
	米国債10年物	4.996	-0.079	0.302	0.670	0.994	0.827
	米国債20年物	5.372	-0.097	0.176	0.467	0.817	0.578
	米国債30年物	5.324	-0.099	0.163	0.411	0.744	0.479
	ドイツ国債2年物	3.062	-0.047	0.177	0.495	1.136	0.940
	ドイツ国債10年物	3.345	-0.081	0.142	0.336	0.762	0.490
	イタリア国債10年物	4.570	0.081	0.521	0.774	1.196	1.019
	スペイン国債10年物	4.039	0.008	0.365	0.568	0.921	0.751
商品など	東証REIT(配当込み)	4,632.80	0.0	▲ 8.5	▲ 10.0	▲ 11.4	▲ 13.9
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙREIT指数注8 (米ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ)	817.49	1.0	▲ 6.9	▲ 1.8	5.3	7.2
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙREIT指数注8 (ﾍｯｼﾞなし・円ﾍﾞｰｽ)	985.48	0.2	▲ 11.0	▲ 3.5	8.1	7.2
	香港REIT 注9	650.01	▲ 0.3	▲ 4.1	0.0	▲ 0.4	9.7
	オーストラリアREIT 注9	1,150.43	0.3	▲ 8.5	▲ 6.2	▲ 19.2	▲ 14.9
	北海ブレント原油先物	116.72	6.2	15.9	11.1	76.9	91.8
	WT原油先物	103.27	1.8	12.0	7.7	67.1	79.9
	ニューヨーク金先物	4,007.90	▲ 4.1	▲ 1.0	▲ 15.2	▲ 3.3	▲ 7.7
	CRB指数	418.60	▲ 0.3	4.6	9.6	37.2	40.1
	シンガポール鉄鉱石先物	90.54	▲ 0.8	▲ 7.8	▲ 15.1	▲ 13.5	▲ 14.1
	S&P MLPﾄｰﾀﾙﾘﾀｰﾝ指数	12,684.04	1.3	1.2	7.8	31.3	27.3
	S&P BDCﾄｰﾀﾙﾘﾀｰﾝ指数	373.36	▲ 0.8	▲ 0.5	▲ 2.9	▲ 7.7	▲ 10.5
	ビットコイン	81,328.65	▲ 0.4	24.9	4.4	▲ 25.8	▲ 7.2

*「利回り」変化のデータは、騰落率(%)ではなく、騰落幅

注8 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙREIT指数　：S&PｸﾞﾛｰﾊﾞﾙREIT指数(配当込み)

注9 香港/ｵｰｽﾄﾗﾘｱREIT指数　：S&Pの各地域/国REIT指数(配当込み、現地通貨ﾍﾞｰｽ)

	為替(米ﾄﾞﾙ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽを除き、対円)	先週末	騰落率(%) 週間	3カ月	6カ月	1年	25年末比
北米	米ドル・インデックス	101.81	▲ 0.0	0.4	3.1	2.9	3.5
	米ドル	156.87	▲ 0.7	▲ 4.3	▲ 1.8	2.8	0.1
	カナダ・ドル	112.07	0.2	▲ 3.7	▲ 3.9	2.8	▲ 1.9
欧州	ユーロ	175.72	▲ 1.0	▲ 5.7	▲ 5.8	▲ 0.9	▲ 4.5
	英ポンド	209.77	▲ 0.4	▲ 3.9	▲ 2.5	3.2	▲ 0.7
	スイス・フラン	190.16	▲ 0.8	▲ 5.2	▲ 6.4	▲ 0.9	▲ 3.8
	スウェーデン・クローナ	15.80	▲ 0.9	▲ 6.0	▲ 8.4	▲ 2.8	▲ 7.2
	アイスランド・クローネ	1.288	▲ 1.2	▲ 1.1	▲ 0.9	3.3	3.2
	ノルウェー・クローネ	16.82	0.4	▲ 1.3	▲ 1.6	10.0	8.3
	デンマーク・クローネ	23.51	▲ 1.0	▲ 5.7	▲ 5.8	▲ 0.9	▲ 4.6
アジア・オセアニア	中国人民元	23.52	▲ 0.5	▲ 2.7	0.6	9.8	4.7
	香港ドル	20.00	▲ 0.6	▲ 4.3	▲ 1.9	1.9	▲ 0.7
	台湾ドル	4.81	▲ 1.4	▲ 5.3	▲ 4.9	▲ 3.0	▲ 3.6
	韓国ウォン(100ウォン当たり)	11.84	0.0	6.6	9.7	11.6	9.1
	シンガポール・ドル	122.74	▲ 0.6	▲ 3.2	▲ 1.8	4.4	0.7
	マレーシア・リンギ	38.33	▲ 0.9	▲ 4.1	▲ 4.8	6.2	▲ 0.6
	タイ・バーツ	4.65	▲ 1.7	▲ 4.1	▲ 5.5	▲ 0.2	▲ 6.6
	ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ・ﾙﾋﾟｱ(100ルピア当たり)	0.868	▲ 1.0	▲ 5.0	▲ 6.1	▲ 5.5	▲ 7.6
	フィリピン・ペソ	2.468	▲ 1.6	▲ 6.6	▲ 6.4	▲ 5.1	▲ 7.1
	ﾍﾞﾄﾅﾑ・ﾄﾞﾝ(100ドン当たり)	0.607	▲ 0.5	▲ 2.5	0.1	4.8	1.9
	インド・ルピー	1.65	▲ 0.7	▲ 2.6	▲ 2.5	▲ 4.9	▲ 5.3
	オーストラリア・ドル	110.36	0.5	▲ 3.3	▲ 3.1	11.1	5.6
	ニュージーランド・ドル	89.40	0.1	▲ 5.5	▲ 4.3	1.9	▲ 1.0
中南米	ブラジル・レアル	31.51	1.0	▲ 2.2	▲ 1.1	11.2	10.6
	メキシコ・ペソ	8.40	▲ 1.6	▲ 10.1	▲ 8.3	1.3	▲ 3.4
	ｺﾛﾝﾋﾞｱ・ﾍﾟｿ(100ペソ当たり)	4.98	0.2	▲ 2.5	11.0	26.8	20.1
	チリ・ペソ(100ペソ当たり)	15.76	▲ 1.8	▲ 8.9	▲ 11.4	▲ 2.4	▲ 9.4
	ペルー・ヌエボ・ソル	45.49	▲ 1.1	▲ 5.6	▲ 1.2	1.1	▲ 2.4
東欧	ポーランド・ズロチ	39.92	▲ 1.8	▲ 7.3	▲ 9.2	▲ 4.8	▲ 8.5
	ﾊﾝｶﾞﾘｰ・ﾌｫﾘﾝﾄ(100フォリント当たり)	47.93	▲ 1.9	▲ 6.3	▲ 5.8	5.6	0.1
	ルーマニア・レイ	32.86	▲ 1.6	▲ 7.7	▲ 10.3	▲ 5.8	▲ 9.1
	トルコ・リラ	3.15	▲ 1.1	▲ 8.8	▲ 11.0	▲ 13.0	▲ 13.3
その他	南アフリカ・ランド	9.47	▲ 1.2	▲ 2.8	▲ 1.4	7.6	0.0
	エジプト・ポンド	2.84	▲ 4.0	▲ 11.2	▲ 6.6	▲ 11.5	▲ 13.8

（騰落率がプラスの場合は各通貨高、マイナス▲の場合は円高）

注1 世界株価指数　：MSCIｵｰﾙｶﾝﾄﾘｰﾜｰﾙﾄﾞ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽ(米ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ、税引後配当込み)
注2 先進国株価指数　：MSCIﾜｰﾙﾄﾞ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽ(米ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ、税引後配当込み)
注3 先進国(除く日本)株価指数　：MSCI-KOKUSAIｲﾝﾃﾞｯｸｽ(米ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ、税引後配当込み)
注4 新興国株価指数　：MSCIｴﾏｰｼﾞﾝｸﾞ・ﾏｰｹｯﾄ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽ(米ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ、税引後配当込み)
注5 日本国債指数　：FTSE日本国債ｲﾝﾃﾞｯｸｽ(円ﾍﾞｰｽ)
注6 先進国(除く日本)国債指数　：FTSE世界国債ｲﾝﾃﾞｯｸｽ(除く日本、米ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ)
注7 新興国債券指数　：JPﾓﾙｶﾞﾝ・ｴﾏｰｼﾞﾝｸﾞ・ﾏｰｹｯﾂ・ﾎﾞﾝﾄﾞ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽ・ﾌﾟﾗｽ(ﾍｯｼﾞなし・米ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ)

※右表の為替ﾚｰﾄは原則としてﾆｭｰﾖｰｸの17時時点のものであり、弊社投資信託の基準価額の算定に用いられるものと大きく異なることがあります。また、ビットコインのﾃﾞｰﾀもﾆｭｰﾖｰｸ17時時点です。
※指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。
※データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

先週の主な出来事（株式市場での反応を○、△、×の順で評価）

日付	市場の反応	国・地域	指標など（コメント）
10月19日（月）	○	中国	**7-9月期のGDPは市場予想を上回り、政府の年間成長率目標の下限に相当** 7-9月期のGDPは前年同期比+4.5%と、伸びが高まり、政府の年間成長率目標の下限に相当した。9月の鉱工業生産は前年同月比+5.5%、小売売上高も+1.1%と、ともに前月の伸びを上回った。また、1-9月累計の都市部固定資産投資は前年同期比▲7.2%と、8月までの累計と同じ減少率にとどまった。一方、不動産投資は▲20.6%と、減少率が市場予想を上回った。中国本土株式は、GDPが市場予想を上回ったことなどから続伸した。香港市場は祝日で休場だった。日本では、前週末の米国でAI(人工知能)・半導体関連銘柄が大幅安となった影響から、日経平均株価が反落した一方、商社株などが買われ、TOPIXは続伸した。国債利回りは、投資家のﾘｽｸ回避の動きなどを背景に低下した。円相場は概ね1ﾄﾞﾙ＝158円台で推移した。
	×	欧州	**ﾌﾗﾝｽでの大規模ﾃﾞﾓが一部で暴徒化** ﾌﾗﾝｽ各地で17日、物価高対策や教育環境の改善を求める大規模ﾃﾞﾓが行なわれた際、複数の都市で略奪や放火が起き、警察と参加者の衝突に発展した。政治・財政への不安が強まり、同国の国債や株式が売られただけでなく、欧州各国で国債利回りが上昇し、株式相場は反落した。外国為替市場では、ﾕｰﾛが対ﾄﾞﾙで売られた。なお、原油先物は、中東での衝突が拡大するのではとの懸念などから、欧州で高値もみ合いとなった後、米国では続伸し、9月中旬以来の高値で引けた。米国では、ｲﾝﾌﾚ懸念や欧州債券安の影響などから、国債利回りが上昇した。株式市場では、景気敏感株の一角が売られた一方、AI・半導体関連株には押し目買いが入り、相場はﾏﾁﾏﾁとなった。
20日（火）	×	ｱｼﾞｱ	**AI・半導体関連銘柄が売られる** AI・半導体関連銘柄への売りや中東情勢への懸念などから、日本や台湾、韓国の株式相場が下落した。日本の国債利回りは、国債入札が好調となったことや、日本時間に米長期金利が低下したことなどから、低下した。なお、中国本土株式はﾏﾁﾏﾁとなったほか、香港株式は反落した。
	△	米国	**米国とｲﾗﾝの協議を巡る思惑が交錯し、原油先物が乱高下** 9月の住宅着工件数は前月比▲5.2%の年率122.1万戸と、市場予想に反して減少し、4ヵ月ぶりの低水準となった。一方、建設許可件数は▲0.2%の140.0万戸と、2ヵ月連続減となったが、予想を上回った。欧米の原油先物は、米国とｲﾗﾝの協議が週内にも進展する見通しと一部で報じられたが、その後、協議は継続しているものの、合意が近いとの見方は否定されたことなどから、乱高下した末、下落して引けた。欧州では、原油安を背景に国債利回りが低下したが、仏・独の10年債利回り格差は拡がった。株式相場は、AI関連投資に関する懸念などを背景に総じて続落した。米国でも、国債利回りは低下した。株式市場では、ﾊｲﾃｸ株が軟調となり、ﾅｽﾀﾞｯｸ総合指数は小反落したが、決算が好感された銘柄に加え、ﾍﾙｽｹｱや消費関連株、銀行株などが買われ、他の主要2指数は上昇した。外国為替市場ではﾄﾞﾙが対主要通貨で売られた。
21日（水）	○	ｱｼﾞｱ	**米宇宙開発企業の決算が市場予想を上回り、AIに関する懸念が後退** 前日の米国で株式市場の引け後に宇宙開発企業が発表した7-9月期決算では、AI事業の急成長などを背景に、売上高および最終利益が市場予想を上回った。これを受けてAIに関する懸念が後退し、21日のｱｼﾞｱ時間には米ﾅｽﾀﾞｯｸ100指数の先物が堅調に推移したほか、AI・半導体関連銘柄が買われ、日本や台湾、韓国の株式相場が反発した。一方、中国本土・香港株式市場では、前日に発表した7-9月期決算が市場予想を下回った車載電池大手の株価が急落した影響や中国景気の先行き懸念などから、相場が下落した。
	○	欧米	**ﾊｲﾃｸ株が買われる** 英国では、9月の消費者物価指数が前年同月比+3.5%と、市場予想を上回り、2025年10月以来の高い伸びとなった。利上げ観測が高まり、国債利回りが上昇する場面もあったが、欧州の原油先物が乱高下の末、小幅高で引けると、国債利回りは低下に転じた。一方、ﾕｰﾛ圏ではﾌﾗﾝｽを中心に国債利回りが上昇したほか、仏・独10年債の利回り格差が拡がった。欧州株式市場では、ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ株やｴﾈﾙｷﾞｰ株などを中心に相場が反発した。米国では、ﾛｼｱの（右上に続く）
			（左下より続く）ﾌﾟｰﾁﾝ大統領が、同国を訪問中の米国のｳｨｯﾄｺﾌ和平交渉担当特使に対し、ｳｸﾗｲﾅ問題を巡る和平交渉の再開に原則として賛成したと前日に報じられたことなどを受け、原油先物は下落した。ただし、その後、米国務省は、ｲｴﾒﾝの親ｲﾗﾝ武装組織ﾌｰｼﾞ派による脅威が高まっているとして、在ｻｳｼﾞｱﾗﾋﾞｱ大使館の職員と家族に退避命令を出した。原油先物は、時間外取引で上昇に転じる場面があった。国債利回りは、中東情勢の不透明感などを背景に上昇した。株式市場では、宇宙開発企業が前日に発表した決算や、同社とEV(電気自動車)大手との経営統合に向けた特別委員会の設置などが好感され、ﾊｲﾃｸ株を中心に相場が上昇した。
22日（木）	×	ｱｼﾞｱ	**米企業の決算発表を受け、AI・半導体関連銘柄が売られる** 前日の米国で株式市場の引け後、SNSなどを手掛けるIT大手が7-9月期決算を発表し、売上高や利益に加え、10-12月期の売上高見通しの上限も市場予想を上回った。ただし、2026年の設備投資額の見通しが1,350億～1,450億ﾄﾞﾙと、下限が50億ﾄﾞﾙ引き上げられたことなどから、AI向け巨額設備投資に対する不安が高まった。同じく決算を発表した米半導体製造装置大手は、実績が市場予想を上回ったものの、売上高見通しは予想並みにとどまり、市場の高い期待を満たすには至らなかった。22日のｱｼﾞｱでAI・半導体関連銘柄が売られ、日本や台湾、韓国の株式相場が反落した。外国為替市場では、株安を受けて円が買われ、円相場は一時156円台まで上昇した後、157円台で推移した。中国本土・香港株式も、半導体関連銘柄などのﾃｸﾉﾛｼﾞｰ株を中心に続落した。
	×	欧米	**投資家のﾘｽｸ回避姿勢が強まる** 中東での戦闘激化などを背景に、原油先物が反発した。また、AI設備投資を巡る懸念やｱｼﾞｱでの株安、仏国債利回りの上昇などが嫌気されたこともあり、ﾊｲﾃｸ株を中心に株式相場が総じて下落したが、ﾆｭｰﾖｰｸ・ﾀﾞｳ工業株30種は僅かに続伸した。国債利回りは、投資家のﾘｽｸ回避の動きを受けて総じて低下したが、仏国債については上昇し、仏・独10年債の利回り格差が一時1.7ﾎﾟｲﾝﾄ台と、2011年11月以来の大きさとなった。なお、10年債利回りは一時、ﾌﾗﾝｽで5.1%台と、2002年7月以来の高水準となった一方、米国では4.93%台と、9月下旬以来の水準に低下した。外国為替市場では、投資家のﾘｽｸ回避の動きを背景に、円相場が156円台に上昇した。また、原油高に伴ない、ｲﾝﾌﾚ再燃や米長期金利の高止まりが懸念され、金先物が売られた。
23日（金）	△	日本	**ｺｱ消費者物価指数の伸びが2%を上回る** 9月の消費者物価指数(除く生鮮食品)は市場予想通りの前年同月比+2.1%と、9ヵ月ぶりに2%を上回った。株式相場は、前日の米ﾊｲﾃｸ株安を受けて半導体関連銘柄を中心に続落した。また、投資家のﾘｽｸ回避の動きなどから、国債利回りが低下したほか、円相場は一時156円08銭前後と、約1ヵ月ぶりの円高・ﾄﾞﾙ安水準となった。なお、中国本土・香港株式は、値ごろ感からの買いが入り、反発した。人民元は対ﾄﾞﾙで上昇し、一時、2022年6月以来の高値を付けた。
	△	欧州	**ﾕｰﾛ圏のPMIが下振れ** ﾕｰﾛ圏の10月のPMI(購買担当者指数)速報値は、ﾌﾗﾝｽでの下振れなどが影響し、総合ﾍﾞｰｽで前月比▲1.2ﾎﾟｲﾝﾄの51.9と、市場予想を下回った。同指数は50が好・不調の境目。また、ﾌｰｼﾞ派によるｳｸﾗｲﾅへの攻撃が続いたことなどから、欧米の原油先物が続伸し、欧州では4月以来の高水準で引けた。原油高やAI関連銘柄を巡る懸念に加え、低調な決算の発表などもあり、英・独・仏の株式相場が続落した。米国では、ﾊｲﾃｸ株への売りは和らいだが、原油高を受けて景気敏感株や消費関連株の一角が売られたことなどから、株式相場は下落した。また、仏国債の売りが一服となった一方、持ち高調整の売りや原油高などを背景に米国債が売られ、英・独の国債に売りが波及した。外国為替市場では、円相場が対ﾕｰﾛで上昇し、一時1ﾕｰﾛ＝175円19銭前後と、2025年10月以来の円高・ﾕｰﾛ安水準となった。また、原油高を受け、ｲﾝﾌﾚの再燃や米長期金利の高止まりが懸念され、ﾆｭｰﾖｰｸでは金先物が7月中旬以来の安値で引けた。

今週の主な注目点

米国の10月の消費者信頼感指数および9月の新築住宅販売件数(27日)、7-9月期のGDP速報および9月のPCE(個人消費支出)物価指数(29日)や、ﾕｰﾛ圏の7-9月期のGDP速報(30日)、中国の10月のPMI(31日)が発表される。また、米国ではFOMC(連邦公開市場委員会)が27・28日、ﾕｰﾛ圏ではECB(欧州中央銀行)の政策理事会が28・29日、日本では日銀の金融政策決定会合が29・30日に予定されている。さらに、米欧日などの主要企業が相次いで7-9月期決算を発表する。

信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。
当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。